

4-1 伊豆半島およびその周辺の地震活動（1999年5月～1999年10月） Seismic Activity in and around the Izu Peninsula (May, 1999-October, 1999)

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

第1図右は1996年1月1日～1999年11月4日までの期間に伊東市鎌田観測点で観測されたS-P時間が6秒以下の地震の日別地震回数で、同図左は1999年8月1日から10月31日までに伊豆半島およびその周辺に発生した地震の震央分布である。1998年4月20日～6月2日の群発地震活動¹⁾の後、地震活動はしだいに落ち着き、静穏な状態になっている。その結果、鎌田の地震回数は1995年9月や1996年10月の群発活動前のレベルまで低下して来ている（第2図）。

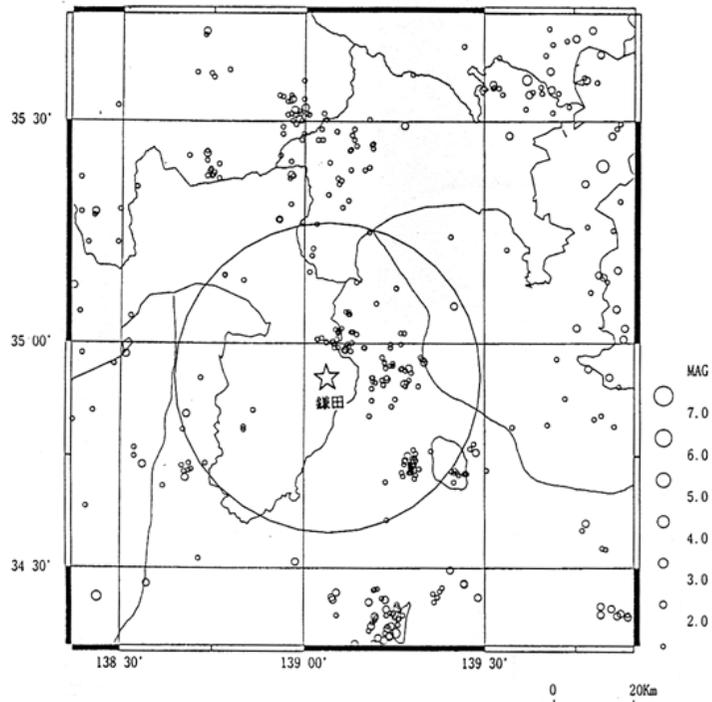
1997年6月26日頃から始まり、30日に活発化した伊東港北沖の地震活動は、消長を繰り返しながら、深さ6～8km前後のところで継続して発生してきた。しかし、1998年末頃から時々活動に途切れが見られるようになり、現在ほとんど発生しなくなった。また、汐吹崎付近を中心とした過去の群発地震の震源域で活動がほとんどなくなっている(第3図)。1998年4月から6月までの群発地震活動後（1998年6月2日以降）の活動休止期間は本年11月9日現在で525日で、鎌田の地震回数の統計を取り始めた1978年11月以降で見ると第3位の長さになっている。なお、第1位は手石海丘の海底噴火後の713日（1989年9月6日～1991年8月20日）である（第4図）。

参 考 文 献

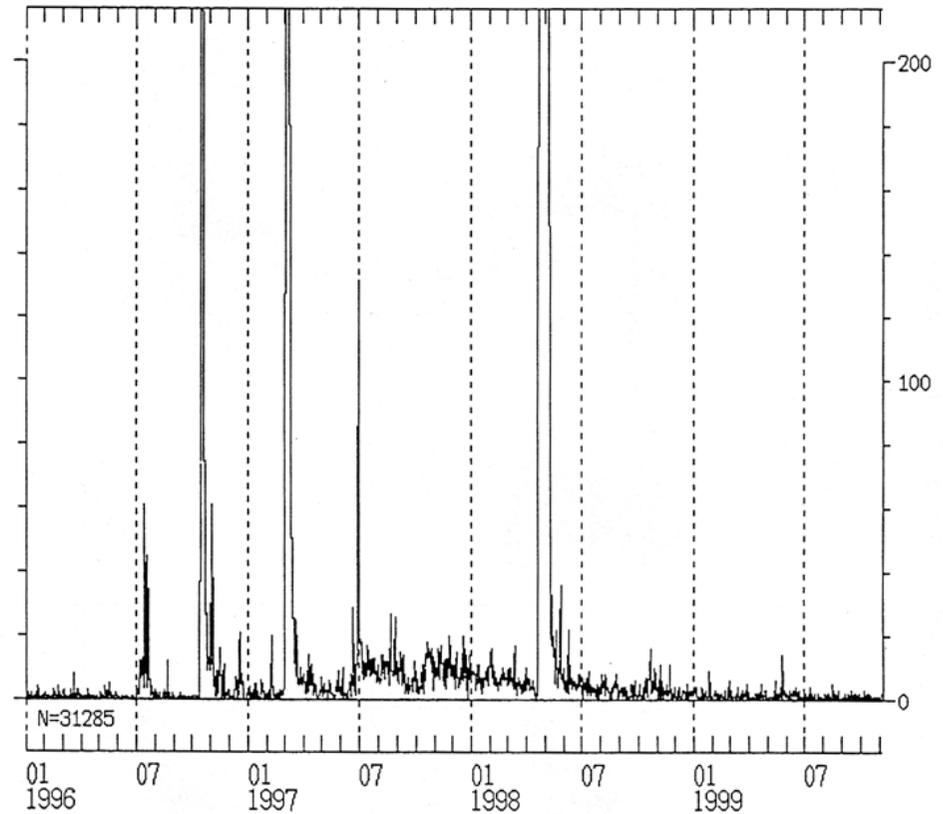
- 1) 気象庁地震予知情報課：伊豆半島およびその周辺の地震活動，連絡会報，**61**（1999），218-221

伊東市鎌田における日別地震回数
($S-P \leq 6\text{sec}$)

1999年8月1日～1999年10月31日の震央分布



$0 \leq \text{Depth} \leq 90 \text{ km}$
図の円内は鎌田における $S-P \leq 6\text{sec}$ の範囲を示す。

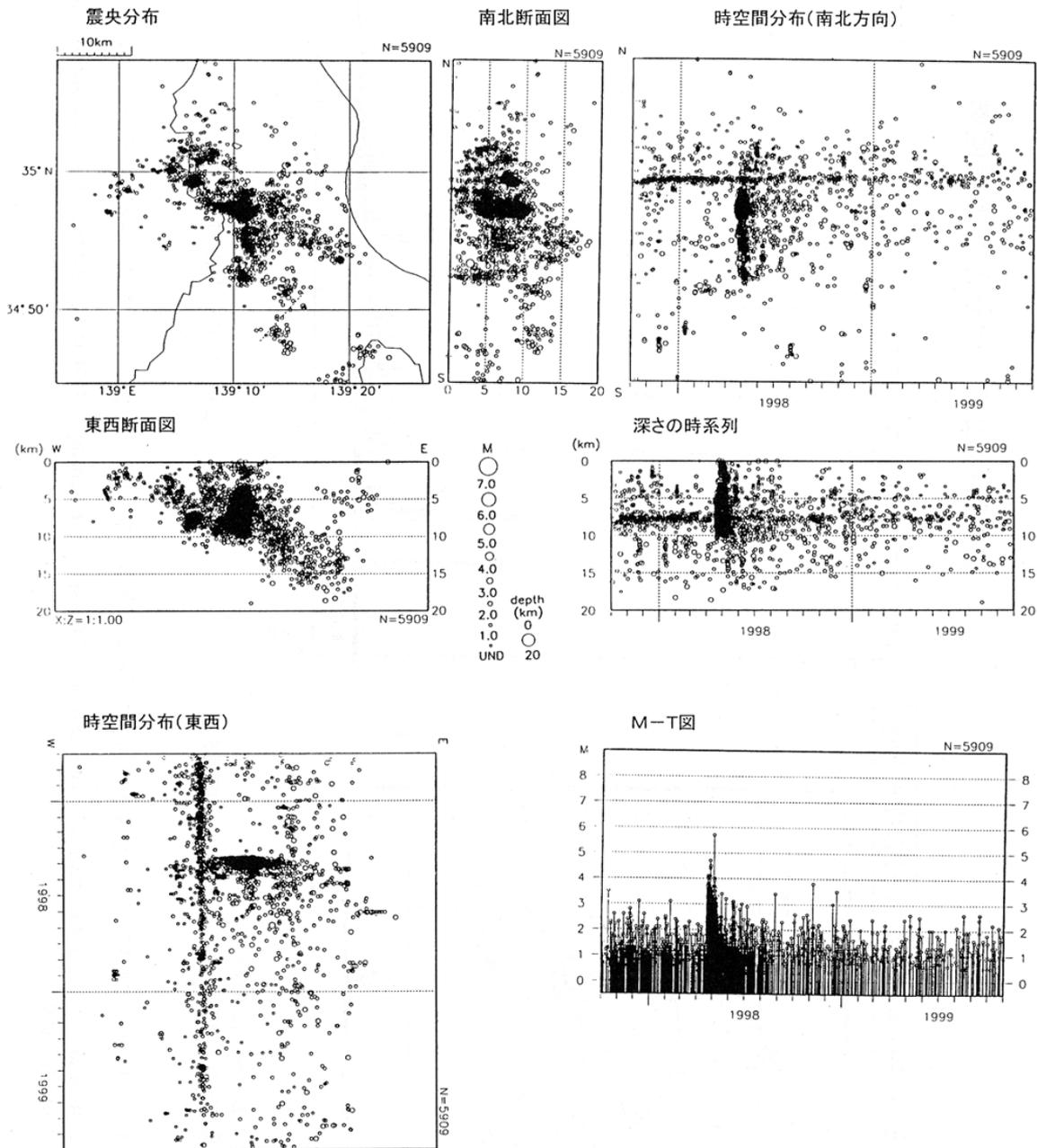


1996/01/01 - 1999/11/4

第1図 1996年1月1日～1999年11月4日までの伊東市鎌田における日別地震回数($S-P \leq 6$ 秒)。挿図は1999年8月1日～10月31日の震央分布
Fig.1 Daily number of earthquakes observed at Kamata in Ito city ($S-P$ time ≤ 6.0 sec) from January 1, 1996 to November 4, 1999. Inset shows epicenters for August 1 to October 31, 1999.

最近の伊豆半島東方沖の地震活動について(観測点補正値を用いた再決定震源)

1997年10月1日~1999年10月31日



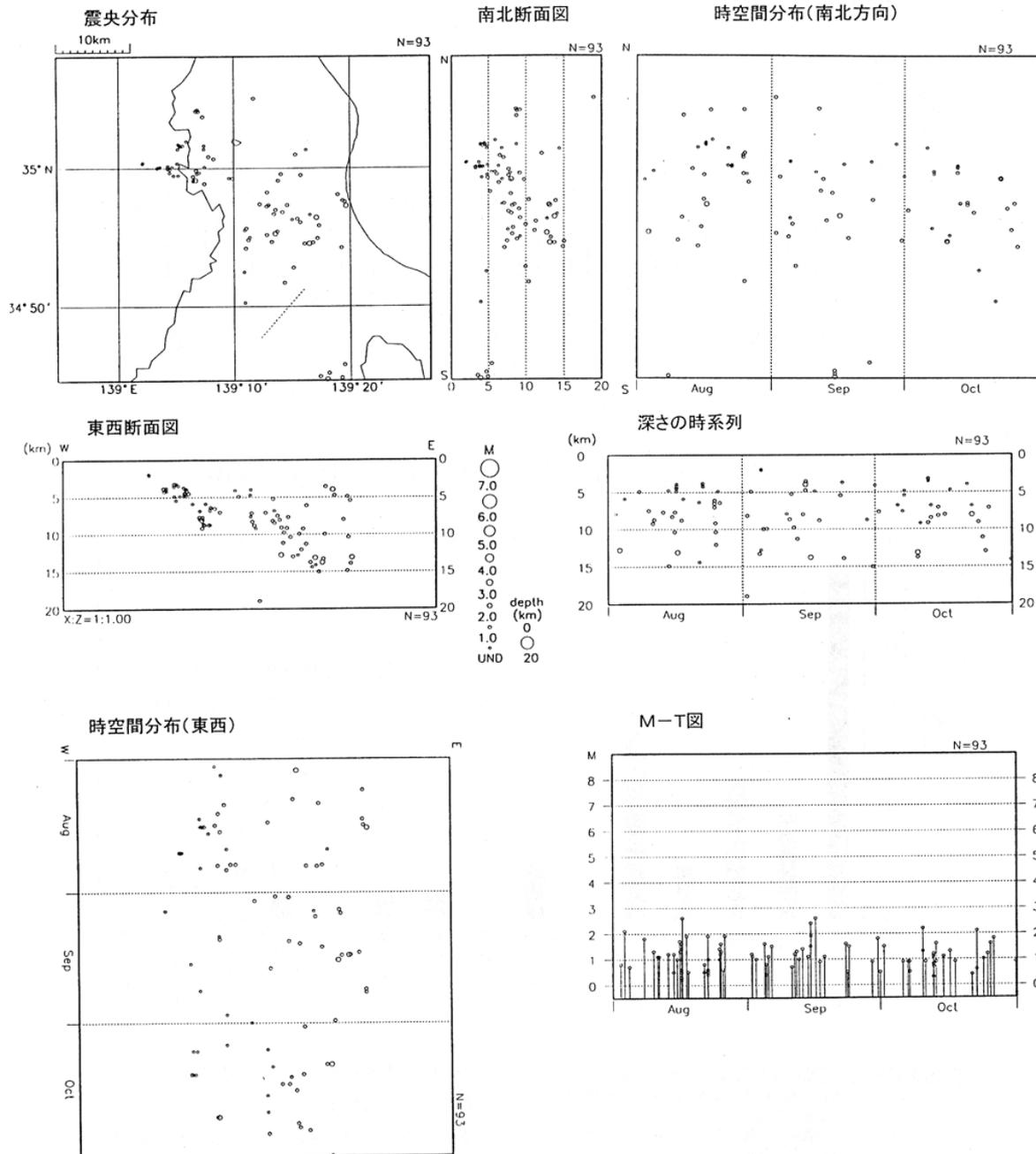
第2図 1997年10月1日~1999年10月31日の伊豆半島東方沖の地震活動

a:震源分布, b:東西の時空間分布図, c:南北断面の時空間分布図, d:震源の深さの時間変化, e:M-T図

Fig.2 Seismic activity off east coast of the Izu Peninsula from October 1, 1997 through October 31, 1999. a:Hypocentral distribution, b:time-space plots along E-W direction, c:time-space plots along N-S direction, d:focal depth-time diagram, e:M - T diagram.

最近の伊豆半島東方沖の地震活動について(観測点補正値を用いた再決定震源)

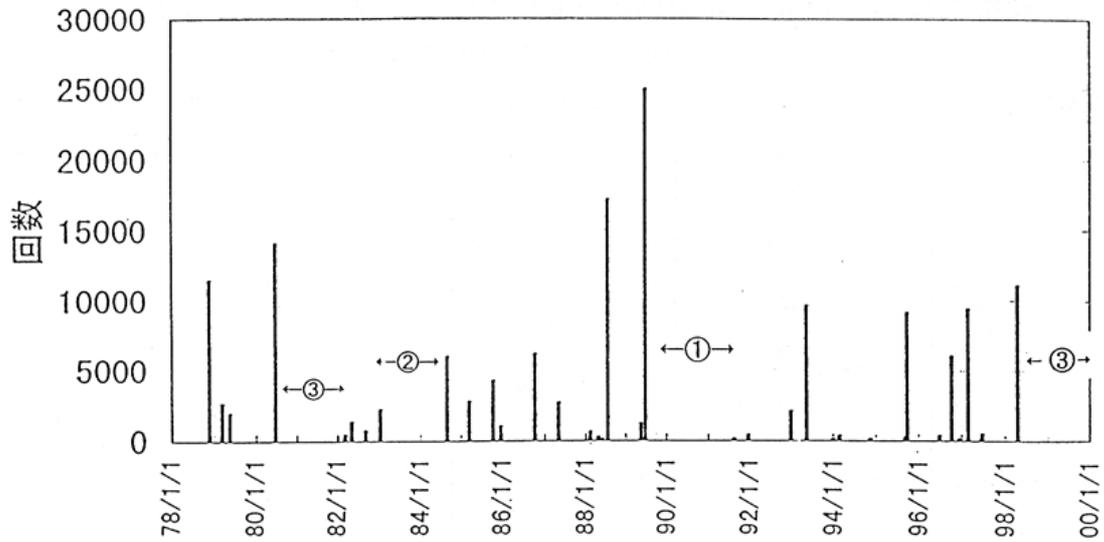
1999年8月1日~1999年10月31日



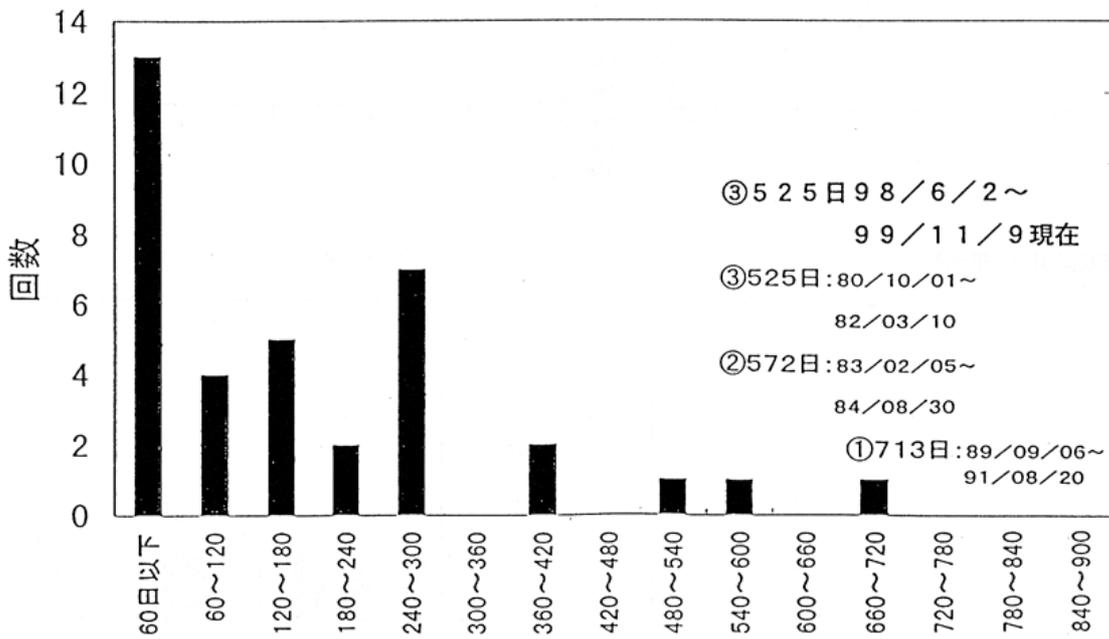
第3図 1999年8月1日~1999年10月31日の伊豆半島東方沖の地震活動

Fig.3 Seismic activity off east coast of the Izu Peninsula from August 1, 1999 through October 31, 1999.

鎌田地震回数(群発活動別)



休止期間:終了から発生までの日数の頻度



群発の始まり: 24時間以内の地震回数が25回以上となった日、あるいは48時間以内の地震回数が25回以上となった日の前日
 群発の終わり: 日回数が10回以下となって5日目の日か、0回となった日

このまま、群発活動がないと休止期間は
 平成11年12月26日に572日(第2位)
 平成12年 5月15日に713日(第1位)となる

第4図 伊東市鎌田における群発活動別地震回数と休止期間の頻度分布

Fig.4 Total earthquake number per each seismic swarm activity and frequency distribution of the period of seismic quiescence observed at Kamata in Ito city.